

等差数列（その1）

1、3、5、7、9、11、13、……、n、……

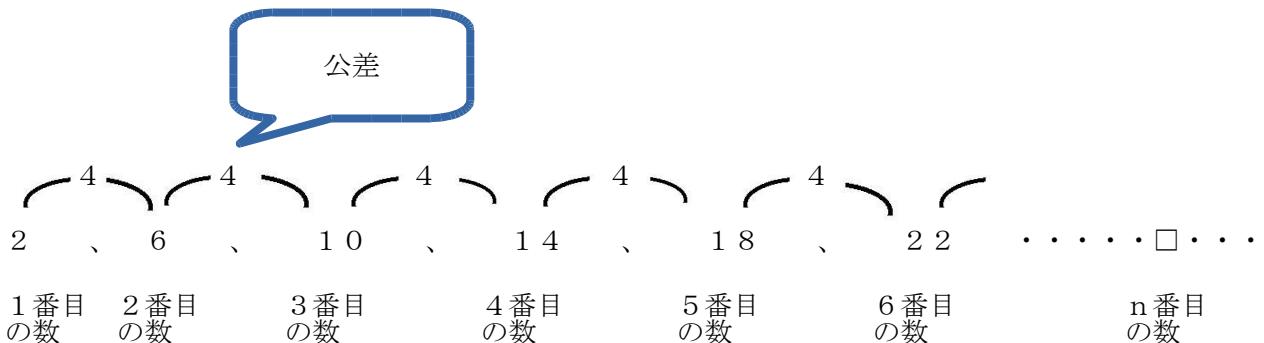
5、10、15、20、25、30、……、n、……

2、6、10、14、18、22、……、n、……

これらの3つの数列は全て等差数列です。

○等差数列（とうさすうれつ）：同じ数だけ増えていく（減っていく）数の列

○公差（こうさ）：増える（減る）一定の数



公式

$$n\text{番目の数} = 1\text{番目の数} + \text{公差} \times (n - 1)$$

(解説)

この公式は等差数列の「n番目の数」を表す公式です。

上の

2、6、10、14、18、22、……、n、……

の数列を例に見てみると

1番目の数は 「2」

2番目の数は 「6」

3番目の数は 「10」

であり、4ずつ増えていることが分かります。このことから「公差」は「4」だとわかります。